

総合防災訓練は9月6日です

9月6日(日)、市内各所で「防災訓練」が行われます。当日は午前8時、地震発生を想定した緊急地震速報(防災行政無線放送)を合図に、避難誘導や初期消火など、さまざまな訓練を行います。

家庭でも気軽にできる防災訓練 合言葉は「8時になったら、全員初動！」

9月6日(日)の午前8時に、防災行政無線やヒッツFM、安全安心メールで、訓練の開始をお知らせします。
知らせを聞いたら、次の初動訓練をしましょう。

- ①ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを落とし、火災などの二次被害を防止する。
- ②家族で声をかけ合い、屋外に避難する。
- ③近所の高齢者などに声をかけ、安否を確認する。
- ④家族一緒に、最寄りの避難所まで歩いてみる。

事前に、家族でハザードマップなどを使って、避難場所や経路を確認してみましょう。



主な訓練内容

▽安否情報確認訓練(隣近所に声をかけ合い、全員の安否を確認します。)
▽住民参加型訓練(初期消火など住民の方にもできることを確認します。)
▽炊出し訓練(備蓄品を使った炊出しを試食します。)
会場ごとに訓練の特色があります。

主な会場

- 南小学校(岡本町1)
- 丹生川小学校(丹生川町町方)
- 坂下公民館(清見町坂下)
- 惣則公民館(莊川町惣則)
- 一之宮町屋内運動場(一之宮町)
- 久々野支所(久々野町無数河)
- 見座公民館(朝日町見座)
- 留之原公民館(高根町留之原)
- 飛驒うりす苑(国府町瓜巢)
- 中尾公民館(奥飛驒温泉郷中尾)

問合先

企画課
35-3134



設立総会であいさつする國島副市長
丹生川支所(7月30日)

環境への取組み、新たな一歩

エコハウス推進協議会を 設立(7月30日)

国のモデル事業に高山市が選定

二酸化炭素の排出抑制など環境に配慮した住宅の普及を目指す「飛驒高山もりのエコハウス推進協議会」が、地元の林業関係者、工務店、建築事務所など27団体によって立ち上がり、設立総会が開催されました。

同協議会は、今年度から始めた環境省のモデル事業(「21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」)に高山市が採択されたことを受け、地元産材や太陽光パネルなどを設置し、地域の特性や気候風土にマッチした木造住宅を年度内に建設することを目指します。

また、総会後に開かれた第1回勉強会では、専門家が環境に配慮した住宅建築に向けて、設計プロセスや最新技術を説明。参加者は、地域の特性を生かしたエコ住宅について、真剣なまなざしで学びました。



自立循環型住宅について講演した
堀祐治富山大学准教授

問合先

林務課
35-3143